

第4回上野地区まちづくりビジョン策定委員会における主な意見

1. 学識委員

- 国際会議やシンポジウムを開催できる規模のホールの規模については、今後その需要など詳細に検討していく必要がある。
- 「取組みの方向性」について、短期・中期・長期のスケジュール感と合わせて整理し、具体的な事業についても可能なもの（短期）については記載すべき。
- 統一的なロゴデザインやキャッチコピーなどを打ち出し、まちづくり全体の一体感を創出できないか。

2. 区民委員

- 来街者など周辺からの声や、技術革新等も踏まえた長期的な視点を「上野への期待」に盛り込んでもらいたい。
- 実際に行う項目と例示が併記されているなど、全体的な記載のバランスをもう一度見直してもらいたい。
- 外からみた上野の負のイメージを払拭したい。また、（別冊（資料編）などで）「上野の歴史性」をもっと強く打ち出してもらいたい。
- 将来像の実現に向けて全体としてどのようにまちづくりを進めていくのかを示す必要がある。
- このビジョンが各地域にどのような影響を与えるのか、しっかり共有してほしい。

3. 鉄道事業者

- 具体的な事業の話については、今後、部会や個別にて協議させていただきたい。
- マネジメント体制について、具体的にどういう人たちで組織して、そこで何を決めていくのかを示してもらいたい。

4. 関係機関（国・都）オブザーバー

- 価値を高めるために地区として必要な機能を、公園に入れるのがよいのか、まちに入れるのがよいのか、よく議論してもらいたい。
- 本当に色々な要素があるまちと認識した。ビジョンに記載しないものも含めて幅広く議論していく方がよい。